人文･社会科学振興プロジェクト研究事業　合同研究推進委員会

日　時:　平成18年　7月26日（水）　15:00～18:00　※18:00～19:00　懇親会
場　所:　東京グリーンパレス「らん」　東京都千代田区２番町２番地
プログラム

| 時　　間 | 概　　要 |
|---|---|
| 15:00－15:05 | 開会の挨拶 |
| 15:05－15:10 | 開催趣旨説明（企画委員） |
| 15:10－16:50 | プロジェクト毎の報告<br>＜内容＞<br>・プロジェクト毎の報告（プロジェクト・リーダー）<br>17 プロジェクト×3 分　（計 51 分）<br>・　プロジェクトごとの報告の際に、出席したグループ・リーダーの自己紹介（テーマ、関心）も同時に行う。1 人 1 分（計 20 分程度）<br>・　領域毎に質疑応答（5 分）最後に質疑応答（5 分） |
| 16:50－17:05 | 人社プロジェクトにおける「課題設定」のあり方について（企画委員） |
| 17:05－17:50 | 「課題設定」のあり方に関する質疑応答、グループ・ディスカッション |
| 17:50－17:55 | 平成 19 年 3 月のシンポジウム等について（企画委員）<br>第Ⅴ領域からのコメント（企画委員） |
| 17:55－18:00 | 閉会の挨拶 |

➢　プロジェクト毎の報告の趣旨
・　プロジェクト・リーダー報告
・　プロジェクトの問題設定とこれまでの研究活動から見えてきた結論、メッセージ、新たなテーマ。
（論文何本、シンポジウム・研究会議、何回開催というような形式的な報告は避ける）
・　併せて、同席しているグループ・リーダーの自己紹介（テーマ、関心など）。

「日本型地域ネットワークと地域通貨」空間の履歴をふまえた地域ネットワークのあり方を日本的知的資産に探り、その成果を社会に発信することを目指しています。ため池を中心にして防災、農、エコロジー、地域づくり etc.様々な分野の専門家、住民たちが集まり、地域を考えてゆく「ため池学会」の立ち上げを画策し、すでに SNSmixi 内にコミュニティを立ち上げています。

・　全研究領域のリーダーが初めて顔を合わせる機会を得て、お互いに携わっている研究の面白さが伝わるような会合になった。

➢　「課題設定」のあり方に関する議論の趣旨
・　人社プロジェクトの成果のかたちとして、「社会提言」やその前提となる「課題設定」がある。
・　「社会提言」については一度取り上げたので、今回は「課題設定」について考えた。
・　人社プロジェクトにおける「課題設定型研究」の意味合い及び社会に「課題設定」を問いかける方法について、グループ・ディスカッションを実施し、様々な考えかたを共有する機会を得た。

越境、多文化社会（◎遠藤、○楯岡）
アート・マネジメント、市場、博物館（◎木下、○藤谷）
自己表象、アイデンティティ、ナラティブ（◎小長谷、○清水）
資源配分（◎佐藤仁、○吉田）
紛争解決、合意形成（◎黒木、○中山）
人材養成、教養（◎加登、○葛西）
科学技術、アート、コミュニケーション（◎平川、○藤田）
若手育成、研究環境、大学院教育（◎沼野、○サトウ）

地縁+血縁のタテネットワーク、無縁、以外に結縁ネットワークがあってコミュニティ運営をしてきたことがわかった。地域通貨国際会議、国際ため池フォーラムをさまざまな立場を超えて共催する。シンポの成果とともに、参画と協働による開催のプロセスのもたらすものを重視している。課題：「日本型地域ネットワークによる協働で地域再生をめざす」有機的ネットワークが創発して地域課題の解決への流れを生む。